

お客様各位

いつも大変お世話になっております。ナットソース・ジャパンでございます。8月も半ばを過ぎたというのに、まだまだ暑く寝苦しい日が続いておりますが体調など崩されていませんか。

さて7月23日の関東地方での大きな地震、そして8月16日の宮城県を中心とした大きな地震に次いで、この週末には新潟県でもまた震度5レベルの大きな地震が起きました。色々と地震対策を耳にしますが、いざ地震が起きてしまうと何をどうして良いのか、なかなか冷静な行動はできないものです。深刻な被害が及ばないことだけを願うばかりです。

では、今月も弊社ニュースレターのご案内をさせて頂く時期になりました。本誌をご購読頂いておりますお客様へは、26日(金)に電子メールを介しての配信を予定致しておりますので宜しくお願い致します。

- ・7月27日にラオスで開催されていたアジア太平洋安全保障フォーラムにおいて「米・豪・中・印・韓・日の6カ国が地球温暖化防止に向けた協定を締結する」ことを、米豪が発表しました。28日の未明に某新聞社より「米豪が温暖化防止で新協定締結へ、反京都議定書で団結」という見出しのニュースが配信されたその10時間後の同新聞社からの続報は、「日米など温暖化防止へ地域協定、京都議定書を補完」という異なったヘッドラインでした。この協定が本当はどういうものなのか、今ひとつ良く分からない面はありますが、これまでの経緯などを当社なりに纏めてみました。
- ・今年1月よりスタートした欧州排出量取引制度(EU-ETS)の時を重ねるごとにその取引量も増加してきていますが、取引制度開始後半年以上が経過したこの段階で、“取引市場”としての成熟度がどの程度であるかについて、某機関から委託を受け当社にて調査を行いました。その結果の概要を今回はご紹介させていただきます。なお、一概に市場の成熟度といっても、特別な判断基準が存在する訳ではないため、何を以って成熟とするかの判断は困難です。そこで、今回は指標の一つとして、米国内で既に10年に亘って取引が行なわれているSO₂アローワンス取引での数字と比較することにより結論付けてみました。

NJLでは、排出権、卸電力、RPS、天候デリバティブなどの話題を採り上げ、弊社なりの視点でご報告させて頂いております。各種取引または当社サービスにつきましてのご質問、ご相談などがございました際には、お気軽に弊社までお問い合わせ下さい。

また、前回8月号よりNJLは電子メールでの配信形式に変更しております。下記URLより過去のNJLの目次を確認することが可能でございます。

ナットソース・ジャパン株式会社

東京都 中央区 日本橋 室町 4-4-10, 東短ビル5階
TEL 03-5200-1710
FAX 03-5200-3369



バックナンバー : http://www.natsourcejapan.com/njletter/contents_2005.html

お申し込み : <http://www.natsourcejapan.com/njletter/order.html>

代表 : 03-5200-1710 : ホームページURL : <http://www.natsourcejapan.com/>

排出権関連 : info@natsourcejapan.com : 03-5200-1710

RPS関係 : rps_nj@natsourcejapan.com : 03-5200-1710

卸電力取引 : power@natsourcejapan.com : 03-5200-3368

天候デリバティブ : weather@natsourcejapan.com : 03-5200-1072

今後とも宜しくお願い致します。